



# 上北だより

令和3年3月1日

練馬区立上石神井北小学校  
校長 本橋 教子

1年

校長 本橋 教子

昨年3月の緊急事態宣言による休校措置から1年がたとうとしています。

突然の安倍首相（当時）の宣言に「未習の単元をどうするのか。」から話し合ったことを思い出します。さまざまな対応を考えるにしても、消毒の方法さえ明確でなく、「4月からどうすればいいのだろうか」と漠然とした不安だけが大きくなっていた状況でした。ここまでの1年間を乗り越えてこられたのも保護者のみなさまのご理解とご協力のおかげと心から感謝いたします。

1年前は今の様子など予想しようとも思えないくらい社会全体が混沌としていたと思います。しかし、ほぼ1年後、日本でもコロナ対策の切り札となるであろう、ワクチンの接種が医療関係者の方々から開始されました。毎日毎日、現在も病床不足の中、自らの命をかけて人命を救ってくださっている医療関係者の皆さんの命の防波堤をやっと作ることができる状況になったのです。これもまた、眠る間も惜しんで奮闘されてきた、世界中の開発者の方々に感謝です。

私たちにできることはコロナへの感染防止とともに、風邪をひかない、けがをしない・させない、とにかく病院に行かないように健康に過ごすことと考えます。みんなの小さい努力の積み重ねが、今後のワクチン接種などを順調に進めていくことに必ずつながっていくと思うのです。私たちにはできない「コロナとの闘い」をしてくださっているエッセンシャルワーカー等たくさんの方々のことを思い、私たちも励まし合いながら頑張っていきましょう。

さて、1年前には予想もしなかったことがもう一つありました。児童一人につき1台のタブレットの配付です。「GIGA スクール構想の実現といえどもいつになるか。」と思っておりましたが本校でも先週、全児童に無事に配付することができました。

ご家庭で準備いただいた手提げを持ってパソコン室にやってくる子供たちの表情に、急なお願いにも関わらずご対応いただいたことに感謝するとともに、時代の変化を感じました。

小学校1年生から、画面をタッチすれば、瞬時に調べたいことについての答えが返って来る環境というのは素晴らしいことです。文房具のように使いこなせるようになっていくことを目指したいと思います。「文房具のように」ということは学びに適切に活用するということです。どんな道具も使い方を誤ったら危険なものに成り果ててしまい、そうなってしまったら使うことをやめさせなくてはならなくなります。他の通信機器と同じように、ご家庭での必要なルールを決めていただければ、学校でも検討していきたいと思います。

ウィズコロナでの学校づくりに向けて、これからも地域・ご家庭へのご協力やお願いが続くかと思うと大変恐縮ではありますが、新しい時代を子供たちと切り拓く思いで進んでいきたいと思っています。

来年度もどうぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1 5時間授業	2☆ 保護者会（3年、4年、み）	3☆	4◆ 保護者会（2年）	5☆	6
7	8	9☆	10☆	11◆ 学年行事・保護者会（1年）	12☆	13
14	15 S時程	16☆ お米の学校（5年）	17☆	18	19☆	20 春分の日
21	22 5時間授業	23☆ 給食（終）	24☆ 修了式	25 卒業式	26 春季休業（～4/5）	27
28	29	30	31	※今月の避難訓練は、子供たちに予告せずに行います。		

### 【保護者の皆様の相談（密田スクールカウンセラー）について】

「予約制」相談員やスクールカウンセラーの勤務日に、相談室直通電話に連絡して直接予約をすることができます。（相談室直通電話：080-2012-2131）学校へ電話（03-3920-1011）して、副校長か担任に相談していただくことも可能です。

☆：こころのふれあい相談員の内田先生の勤務日（8：30～16：30）

◆：スクールカウンセラーの密田先生の勤務日（8：30～17：00）